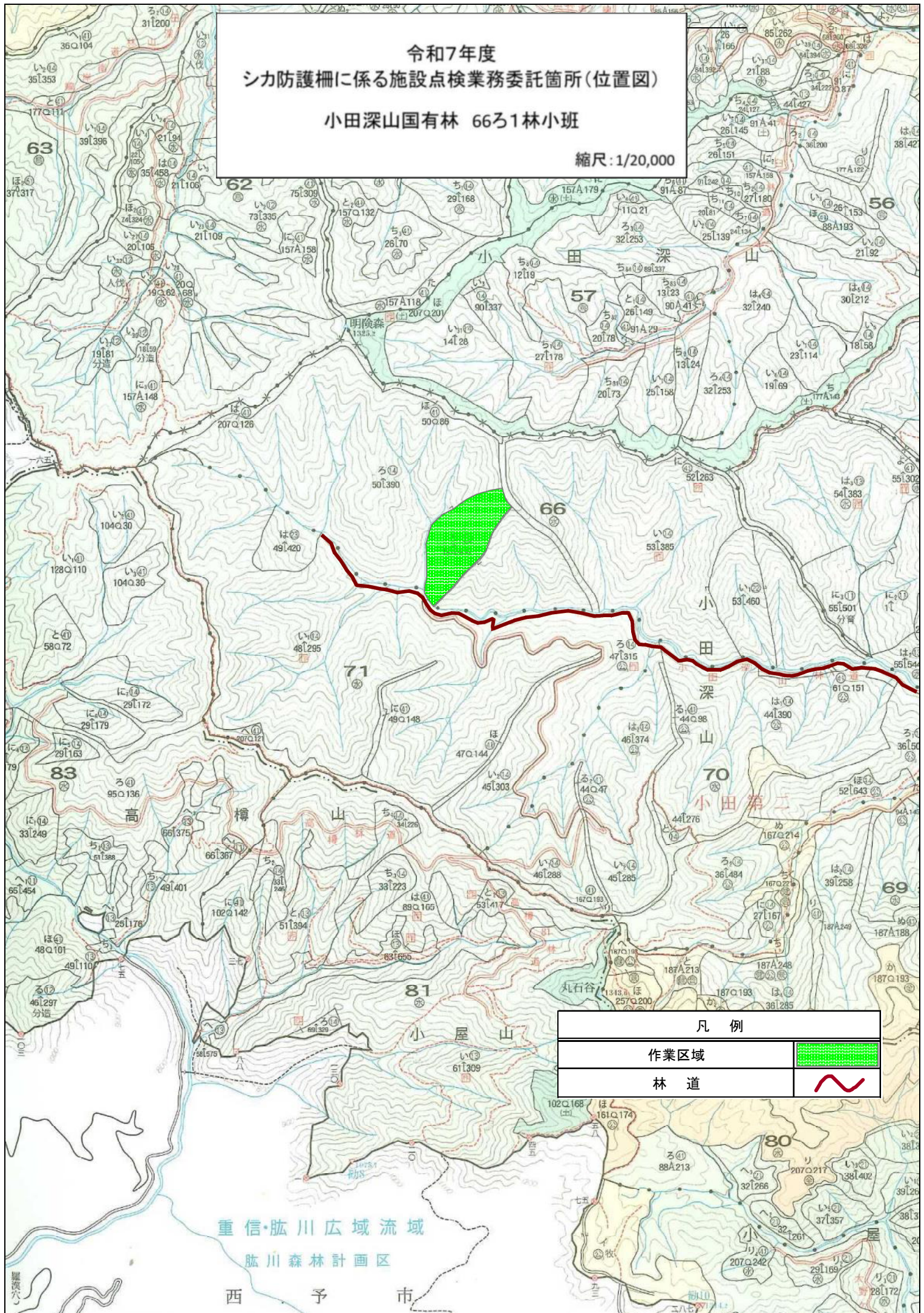


令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(位置図)

小田深山国有林 66ろ1林小班

縮尺: 1/20,000



凡 例	
作業区域	
林 道	

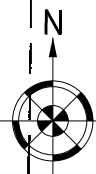
重信・肱川広域流域
肱川森林計画区

西 予 市

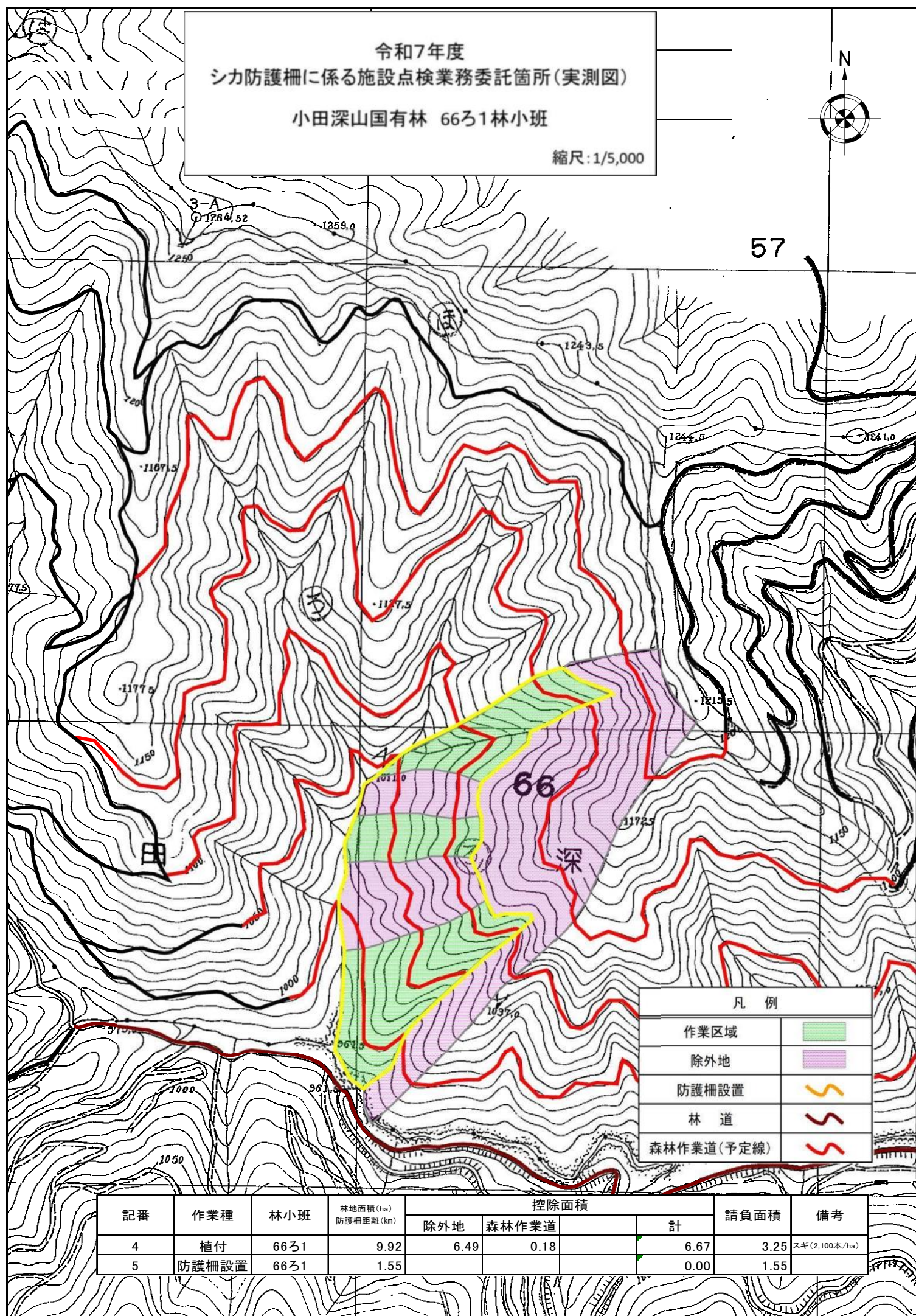
令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(実測図)

小田深山国有林 66ろ1林小班

縮尺: 1/5,000



57

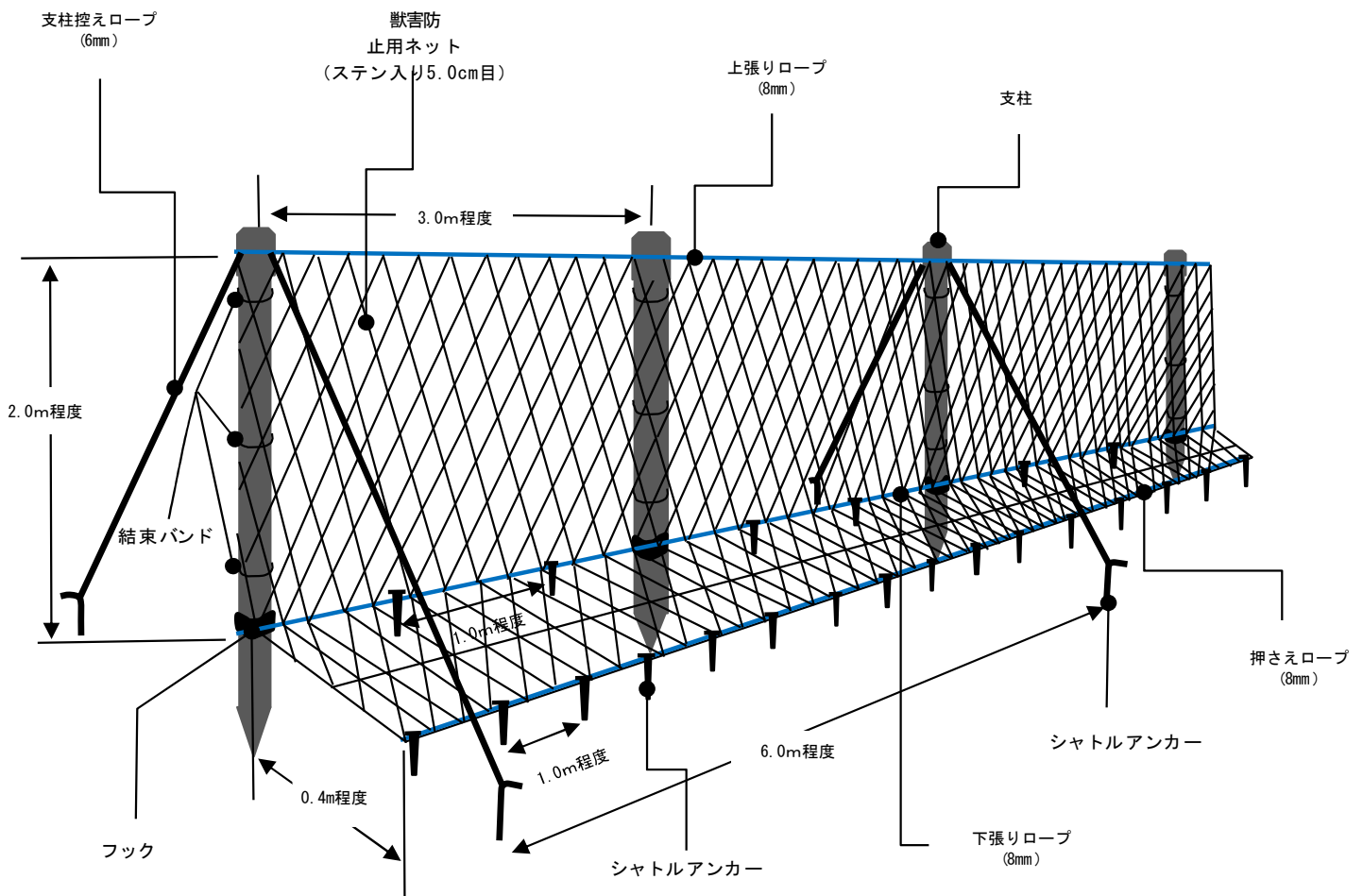


凡 例	
作業区域	
除外地	
防護柵設置	
林 道	
森林作業道(予定線)	

記番	作業種	林小班	林地面積(ha) 防護柵距離(km)	控除面積			請負面積	備考
				除外地	森林作業道	計		
4	植付	66ろ1	9.92	6.49	0.18	6.67	3.25	スギ(2,100本/ha)
5	防護柵設置	66ろ1	1.55			0.00	1.55	

鹿防護網設置仕様書及び定規図（垂直L字型）

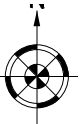
1. 設置箇所は、発注者が指示した箇所とする。
2. 鹿防止ネットは、下記の寸法を基本として設置する。
3. 鹿防止ネット設置箇所は枝条及び下草を取り除くこと。
4. 鹿防護ネットの下段部は確実に地面に設置すること。
5. 監督職員の指示する箇所に、出入口を設置すること。
6. その他作業の実施に当たって疑問等のある場合は、監督職員と協議の上実施すること。



令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(位置図)

小田深山国有林 71は林小班

縮尺: 1/20,000



大
洲
市

上市ヶ峠

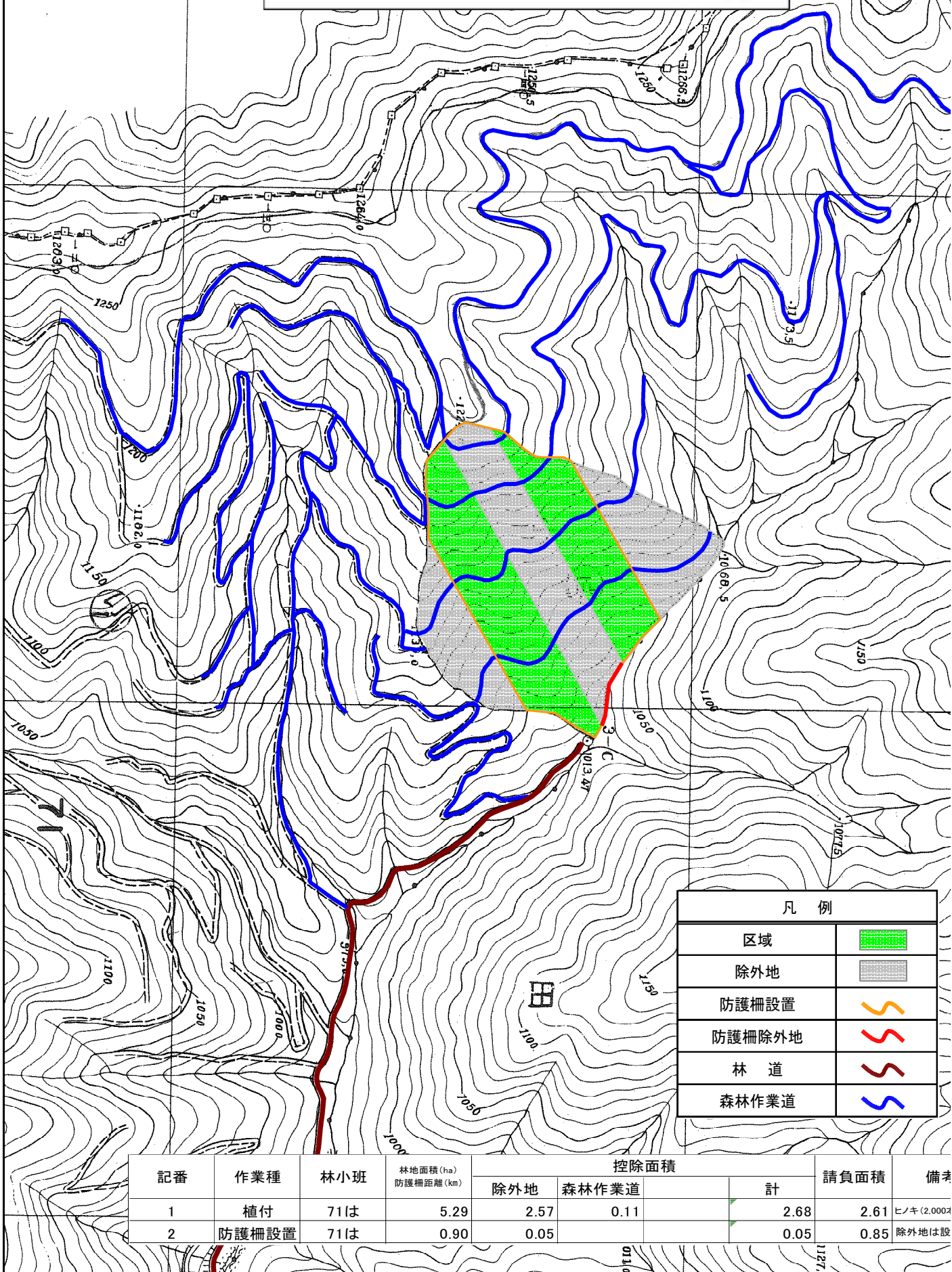
大洲市
西予市

凡 例	
作業区域	

重信・肱川広域流域

令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(実測図)
小田深山国有林 71は林小班

縮尺: 1/5,000

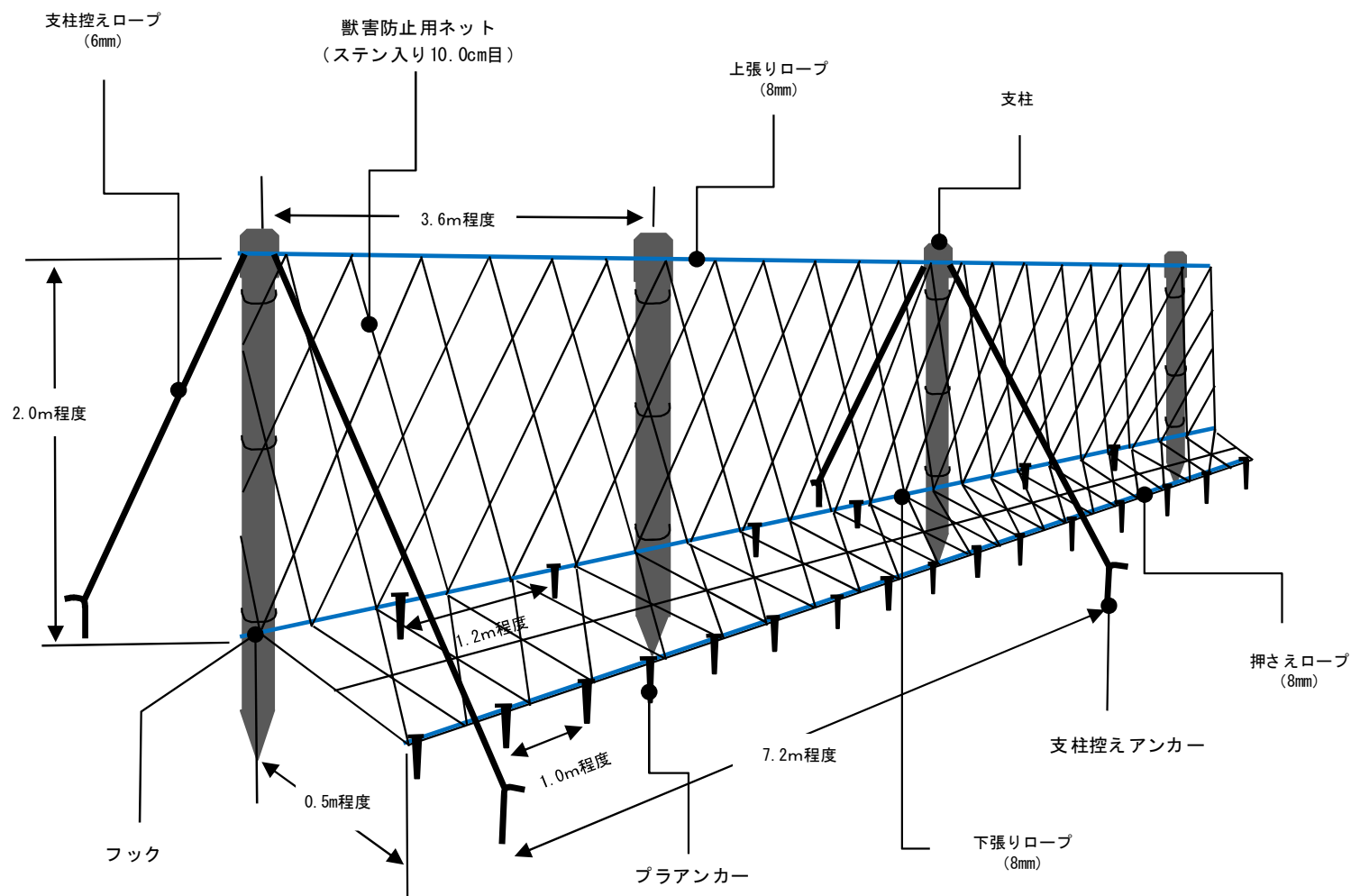


凡 例	
区域	
除外地	
防護柵設置	
防護柵除外地	
林 道	
森林作業道	

記番	作業種	林小班	林地面積(ha) 防護柵距離(km)	控除面積			請負面積	備考
				除外地	森林作業道	計		
1	植付	71は	5.29	2.57	0.11	2.68	2.61	ヒノキ(2,000)
2	防護柵設置	71は	0.90	0.05		0.05	0.85	除外地は設

鹿防護網設置仕様書及び定規図（垂直L字型）

1. 設置箇所は、発注者が指示した箇所とする。
2. 鹿防止ネットは、下記の寸法を基本として設置する。
3. 鹿防止ネット設置箇所は枝条及び下草を取り除くこと。
4. その他作業の実施に当たって疑問等のある場合は、監督職員と協議の上実施すること。



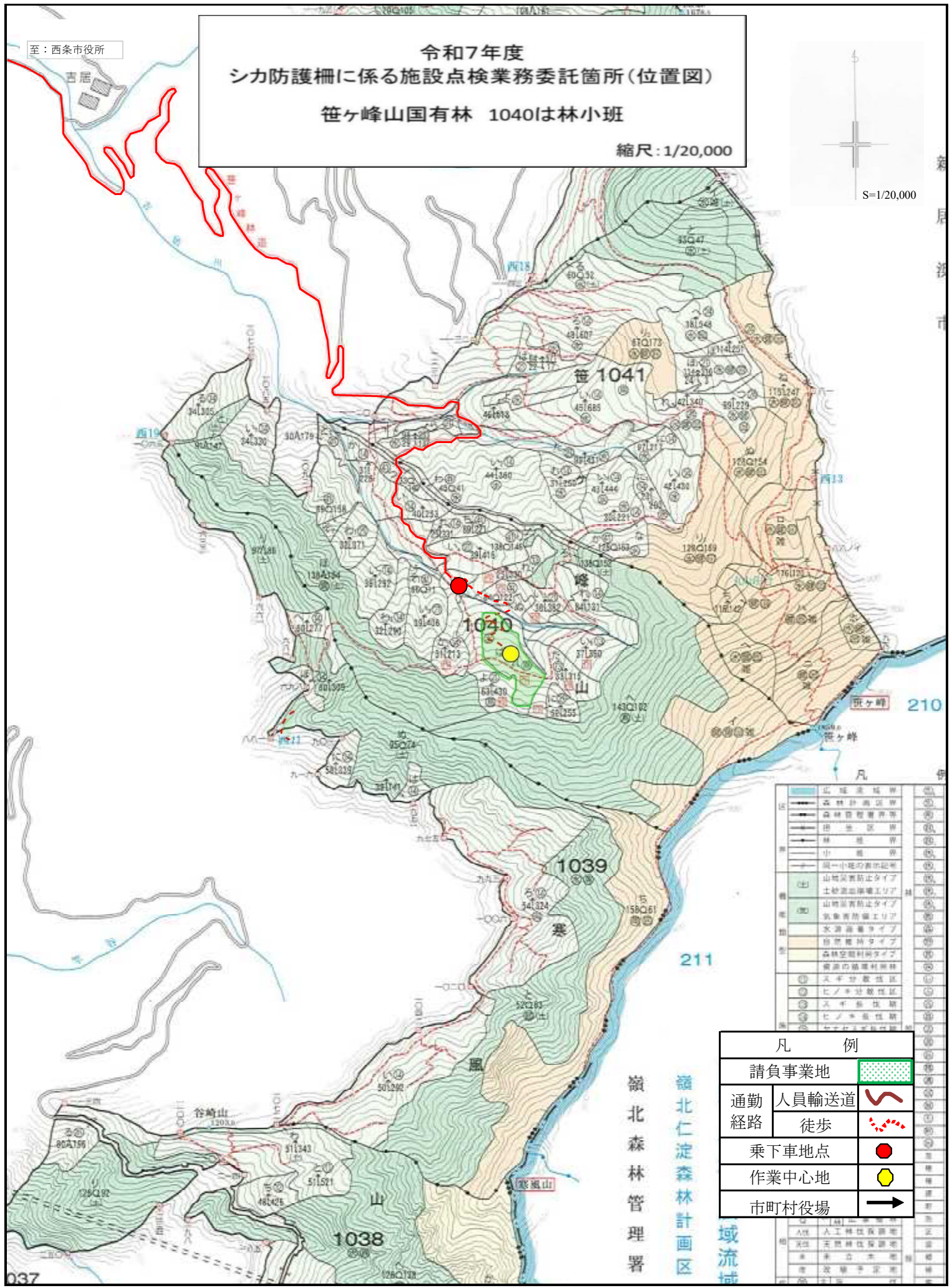
至：西条市役所

令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(位置図)

笹ヶ峰山国有林 1040は林小班

縮尺：1/20,000

S=1/20,000



凡	例
請負事業地	
通勤経路	
乗下車地点	
作業中心地	
市町村役場	

凡	例
請負事業地	
通勤経路	
乗下車地点	
作業中心地	
市町村役場	

嶺北森林計画区
嶺北森林管理署

流域

令和7年度
シカ防護柵に係る施設点検業務委託箇所(実測図)

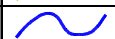
笹ヶ峰山国有林 1040は林小班

縮尺: 1/5,000

1041

C-11
○1125.49

1040

凡 例	
改植地拵・改植植付	
除外地	
防護柵設置	
森林作業道	
歩道	

記番	作業種	林小班	区域面積	控 除 面 積 (ha)				請負面積	備考
				除外地	森林作業道		計		
1	改植地拵	1040は	5.14	0.28	0.27		0.55	4.59	
2	改植植付	1040は	5.14	0.28	0.27		0.55	4.59	スギ9,200本
3	防護柵設置	1040は	1.35					1.35	(km)

1512.3

鹿防護網（L字ネット）設置仕様書及び標準図

1. 設置箇所は、発注者が指示した箇所とする。
2. 鹿防護網は、下記の寸法を基本として設置すること。
3. 鹿防護網設置箇所は枝条及び下草を取り除くこと。
4. 支柱の間隔は3.33m程度とし、上張りロープが垂れ下がらないよう設置すること。
5. 支柱と本体ネットは、上・中・下3箇所、結束バンドで固定すること。
6. 下張りロープと押さえロープの間は、区域の外側に広げて地面に接するように敷くこと。
7. シャトルアンカーは、下張りロープに1.0m程度の間隔、裾押さえロープに1.0m程度の間隔で、出来るだけ互い違いに設置し、ロープと地面に隙間が出来ないようにしっかりと固定すること。
8. 支柱控えロープの固定は、シャトルアンカーを使用すること。
9. 歩道と接続する箇所は、開閉できる出入口を作製すること。
10. その他作業の実施に当たって疑問等のある場合は、監督職員と協議の上実施すること。

